

No. 11 十・十一月号

発行所 東京都中央区築地3-1  
(本願寺内) 全日本仏教会  
電話(54)0313番  
発行人 岩野真 雄堅  
編集人 柳了  
印刷所 栄昌堂印刷工業株式会社  
購読料 一部12円 1ヶ年分 150円(送共)

# 全佛通信

## 佛教の近代化と全一佛教の推進

### 身延大會までの一年間の歩み

.....一年を加へるごとに光を増す.....

この数年來の仏教界の歩みを顧みると、その拠点の順序として、世界仏教徒会議、高野山、永平寺大会の成果がすぐ想い浮べられる。とにかく各宗門と、任意結合の団体と、地区仏教会結合とが、あげて一つの機構の中に全一仏教の旗を立てたことは、日本仏教史上最初のことであり、その協力の実はよく国の内外に仏教の新勢力を築いてきた。

宗門の運営と全一的進展との一致、自由教団と宗門、地区との連携は漸次円滑さを加えている。もちろん、その間多くの難問と批判とは絶えずその全面に蔽いかむさつてはくるが、然し世界の状況や国内の要望は、いよいよ全一の道の併存に向わしめている。

今夏来朝したビルマ、ウ・ヌー首相が全一仏教の促進を提唱したことや、セイロンの主唱にかかる英文仏教百科大辞典編纂の企画が進められたことや、或は国内に大衆伝道への要望が鬱然として起つてきたことなど、今までのあたりに見る実状である。

世界会議から年々の全国大会は、一意全教徒の勢力の集中化であり検討であり、決意であり、そしてこれら国の内外の状況を誘致する影響を与えたことも見逃す事ができない。



昨年十月の永平寺大会の議決やその後の歩みは本紙に要約したが必ずしも道は平坦ではない。驚異的な社会の進運を前に、依然いばらの道で、世界伝道には未だ資材と資金と、保持に於て甚だ欠けるものがあり、国内組織にも現に地方組織の未完全も多く、寺院で全日仏の存在をすら全く知らぬ向も非常に多いと

【写真】 現下の仏教を如何に振興するか。四百名余の全国代表を集めて会議が開かれる身延山会場。  
〔上〕身延山久遠寺祖師堂。  
〔下〕伽藍建並ぶ身延山の全景。

言われている。全仏側の努力や運営費の不足もあろうが、進んで立つ新時代への認識の未熟にもよるのではないか。

然しそれにも拘らず全一運動の必要性は益々高く評価されている。今回の身延山大会に蓮門当局が多大な熱意を以て準備し歓迎されるのもその一つの表れであり、全国より馳せ参ずる新時代の仏教を担う諸師の識見と討議とは、明らかにその歩みを前進せしめることであらう。

明年は東南アジア仏教圏の仏紀二千五百年に協力して幾多の世界的行事が行われ、これに呼応して国内仏教の一層の結集と躍進が待望されている。先ず身延へ、そしてそれを足がかりとして教界一層の展開を計ろう。仏祖も必ずよき道に導きを与えられることであらう。

## 身延山大會以後に

### 豫定される中心運動

このことは一に大会の議事決定に現われようが、ほぼ予見されるものは左の如きものであらう。

- 一、仏教二千五百年運動を中核とする国内各組織の充実、末端組織寺院の周知徹底。
- 一、大衆の新教化策の樹立。(特に放送、映画、音楽、文書を中心として)
- 一、印度、ネパールその他各国との交歓。
- 一、仏青、仏婦、社会福祉施設の単位組織増設への推進。
- 一、仏教徒募金の普及と地区仏教会資金の充実。
- 一、英文仏教百科大辞典編纂の進捗と各種国際伝道に関する文書の刊行企画等。

# 英文仏教百科大辞典

## 編纂委員會

十月二十三日 京都佛敎大學で

英文仏教百科大辞典の編纂事業は、編纂所員が献身的な努力によつて着々と進められていくが、去る十月二十二、三日の両日京都の仏敎大學において開催された日本印度学、仏敎学両大会において協力の件が満場一致決議され引つづき同大學に於て編纂委員會を開催、各編纂委員の協力要請と、現況の報告を行つた。

なほ、本事業に關し、花山編纂局長からの報告によると次の通りである。

開所以來、宇井博士の仏敎辞典と仏敎学辞典との中から、全般的な項目の蒐集がなされて来たが、その間に一応集められた項目は大體に十に分類され、更に細かに整理する事に依つて、全体の見通しが得られる様試みられた。その為、先づ項目全般に渡つた一覧表を作り、全然缺けてない新しい項目をつくることと、類似の不要な項目をけずる様、全体のバランスと統一とを計ることにとめて来た。更に又、エンサイクロペディアとしての特色を充分發揮する事の出来る、新しい感覺をもつた項目の発見にも努力した。こうして今の段階では、特に左の様な観点から、最後の項目をつくりつつある。

(1)項目を作る際は、其の項目にもられる内容に迄入り、内容項目をもち上げ、原稿を書く場合の便宜と、項目相互の連絡をはかり、重複のないよう、統一をはかる様に努める。

(2)最近の諸業績にも眼を向け、広い角度から新しい項目を作る様にす。

(3)この百科大辞典が英文であると云う事から来る所の、英語の項目と仏敎の語彙との間の概念内容のずれを常に注意し、内容が簡

新であり、理解に容易であると云う点を考慮に入れて、英文仏教百科大辞典としての特色が名実共に發揮されうる様努める。

以上の様な方法をとつてゐる為、多くの時間を要しているが、仕事の見通しもほぼ得られ項目の最後の決定もそう遠くはないと思われ。

各方面から多大の関心と期待をかけられてゐる英文仏教百科大辞典の編纂は、石田主任を始め、早島、塩入、金岡、近藤、野村の各所員、及びその他の協力に依つて曙光を見出しつつあるが、此の度京都に於て日本仏敎学会及び日本印度学仏敎学会が引続き開催されるのを機会に、今迄の整理されて来た結果をもつて学会に参来される編纂委員及び有識関係者の方々に、経過報告を行つと共に、今後の完成に資する意見を伺ふことになつた。

### 全日仏婦連

全日仏婦連は、本年四月東京に於て全国大會を開き、全日本の仏敎婦人の総力を結集して道義的に類聚せる日本の現状を克服する礎たらんとする意を決して以來、着々その実現を目指して活動を進め続けてきた。勿論、全国的組織化を進めて行くには、現在いろいろの制約があり、必ずしも成功的に活動が進んでゐるとは言えない。仏婦事務局としての専従者もなく、理事者もそれら多忙な公私の生活に追われている。しかし、このような制約を克服して各方面で仏婦組織への協力がみられ、またその組織のより上げのための努力がは

われている。最近では、去る十月二十一日、関東、関西それぞれに於て同時に各宗派仏婦担当責任者を招いて懇談會を開き、懇談のうち各宗派仏婦の組織化と全日仏婦連への参加の態勢が整えられる見通しもたれるようになった。各宗派仏婦の本連盟への参加は本連盟発足以來の懸案で、これが決定すれば今後の活動展開に非常に大きな力を加えるものとして、その動向が期待されている。

なお最近の動きとして日誌の一部を紹介しておく。

### 関東地区佛敎婦人連盟 結成大會を開催

かねて準備中であつた関東地区佛敎婦人連盟は、身延山大會を前に早急にその結成を完了すべく、来る十月三十一日午後一時より東京浅草本願寺に於て結成大會を開き、全日仏婦連の関東の地域団体としての一翼を担う。

九月五日 樂地本願寺來賓室にて理事会開催、山本理事長初め米山、坂本著台理事廿六名出席。当日の議題、

一、身延大會、一、仏敎徒募金、一、例月講演開始、其他について協議す。当日出席の理事は各自募金袋を遠宣分担。

同日午後一時より日比谷に於けるネール首相よりの仏舍利奉迎式。又三時よりの曹洞宗々務庁に於ける高階管長渡米壮行會。続いて羽田御出見送り等。それら、数名参加。

九月十三日 仏敎徒募金袋を各地方支部へ委嘱發送す。

九月十六日 日蓮宗々務院に於て日蓮宗婦人會結成に就いての打合せあり宗務院側より灘上、三谷兩次長、婦人部より長谷川、立石馬場其他の諸婦出席。仏婦よりは、船口参加して種々懇談。

九月二十日 日比谷公會堂に於ける世界平和祈願、万国戦歿者慰靈會に船口出席。

身延大會に指参の仏婦ふきん製作の件決定。

其他大會関係の諸項目協議。

十月七日 全仏事務局に於て理事会。身延大會に提出議案の検討。各宗派代表と懇談會

### 全日仏青連

當機關に於ては十月一、二日の両日にかけて全日本仏青代表者會議を東京に於て開催した。二十五号の台風の影響をうけて一部代表者の不参加を見たが宗派代表をはじめ三十余名の代表者によつて會議は進められた。

事務局より當時に至るまでの経過報告があつた後各代表の現状報告及赤裸々の討議が展開され両日決議された諸事項として来る身延山の仏青大會にのぞみ実質的な全国仏青團結を達せん事を約して盛會裡の内に終了した。

主な決議事項

- 一、目的 この連合は日本全国の各仏教育青年相互の親睦と提携とを図り連絡と協力とを密接にしてその發展と交流を期し、併せて全世界の仏青年との連絡をも期す。
- 二、事業 この連合は前条の趣旨を達成する為左の事業を行う。
  - (一) 仏教育青年の設立助成とその育成
  - (二) 仏敎指導者の養成
  - (三) 機關紙の発行
  - (四) 仏青の實情調査
  - (五) 仏青大會の開催
  - (六) 国外仏青と連絡提携
  - (七) 其他必要な事
- 三、役員 委員制の特徵を加味した理事制を用いる。
- 四、役員 構成団体から選出するその数は各構成団体の會員数の率により決定する。
- 五、負担金 負担金は五〇円(會員一名)を原則とする。但し二〇〇名以上の場合は理事会に於て考慮することとする。亦身延山大會に於ける全日仏青大會は十一月四日の夜行される事となつた。
- 六、その他詳細にわたつて討議され此の規約は身延山大會に本代表者會議として一括提議することとした。亦身延山大會に於ける全日仏青大會は十一月四日の夜行される事となつた。

# 第三回全日本佛教徒會議

## 大会日程

一、期間 十一月四、五、六の二泊三日  
二、日程 四日午前中受付

四日 午前一〇時全仏常務理事會  
午後一時開会式

〃 午後二時總會(議案の一括上)  
(提案、各部会区分)

五日 午前八時半〜十一時 各部会  
午前十一時〜十二時  
身延山法主親下導師  
怨親平等慰靈大法要

午後一時〜五時 各部会  
午後五時〜七時各代表懇親會  
午後七時より映画會

六日 午前九時總會各部会報告及討議  
正 午閉會 式  
午後一時 解 散(予定)  
以上

## 参加される

## 各代表の皆様へ

## 一、會議の進め方

文字通り全国仏教徒のなごやかな話し合の場にしたこと。今回の會議は才三回目であるだけに、前二回の経験により、成るべく広範囲の参加と発言を期待している。その為には、會議の模様を出来る限り民主的に運営したいと思ひます。これが為、本会の構成団体内、特に各

宗派、府県仏教会、仏青、仏婦、その他の団体から夫々議事運営委員を推薦して頂きこの委員会の活動によつて充分準備を進めると共に實際の大会運営を出来る限り、和やかにして明るい話し合いの場にしたいたいと思ひ準備して来ました。宜しく参加者各位の御協力をお願い致します。

## 二、議事運営

### 委員会の活動

前記の諸団体より夫々代表者の推薦を得て十月十八日之が才一回會合を、二十五日、才二回を本会事務局で開き、議事運営の細部に関して研究討議を行いました。

## 三、提出議案に就て

提出議案に就ては、かねて本年八月以来屢々關係各団体及一般に連絡要請をなし、本会事務局側で予め検討したる部門に従つてどしどし提案下さる様お願いしておいたが、予期通りに議案が集らず、最近に至つて

## 本大会に寄せられた

## 各地よりの議案

十月二十日現在

### 第一部份 (原理)

- 1 仏教の原理に基き現代科学に於ける迷妄を指摘し、仏教思想が現代の指導原理たることを明らかにする運動をおこそう。  
(仏教同志クラブ 山本洋一)
- 2 仏教原理に基き新生活運動を全国的に強力に展開しよう。(各宗派責任者・全日仏婦)
- 3 仏教原理に基き世界の平和運動を更に一層躍進させよう。(日蓮宗、長野 高坂登来、静岡仏婦 吉井隆子)

### 第二部份 (教化)

- 1 仏紀二千五百年記念事業として全一仏教興隆運動を強力に展開しよう。(日大 小松雄道)
- 2 一仏教運動の記念日としよう。
- 3 英文仏教百科大辞典刊行に協力しよう。(石川存静)
- 4 全国都道府県仏教会の組織を更に強化し地方仏教活動の促進を図らう。(群馬県仏 中村英順)
- 5 仏青、仏婦運動を全国的に展開するため各宗派及び各府県仏教会の全面的協力を要請しよう。(全日仏青全日仏婦)
- 6 教化としての映画、演劇、音楽、ラジオ文学方面の開拓を促進しよう。(日蓮宗、知切光蔵、猪俣興一)

## 四、宿泊に關して

右に就ては何回となく本会事務局と日蓮宗、身延山側と協議懇談の結果、全員支院へお願いすることにした。各支院では本山の指示により随分細かい点まで配慮して準備の万全を期してくれたが、人員の確定が非常に遅れた為、各方面に非常に御迷惑をかけたことを申し訳ないと思ふ。従つて皆さんの配宿割等充分手配はしてある筈だがお氣付きの点は早く本会宿泊責任者まで御申出をお願いしたい。

但、今回は飽くまで仏教徒會議であり、且宿坊である点、只々も参加者各位の温い仏心に依つて氣持良く、香りゆかしく過して頂きたいものである。細部に関しては会場で申上げる。

### 第三部份 (社会)

- 1 ビルマを始め旧戦跡に於ける戦病死殉難者の遺骨収集運動を促進しよう。(慰靈の誠を捧げよう 川島貞子)
- 2 仏教徒の行方保育事業(幼稚園、保育園その他)の発展を図るため全国一丸の組織を更に強化しよう。(日本仏教保育協会)
- 3 仏教社会福祉事業の進展を図るため全国的組織確立に努力しよう。(関東甲信越仏教社会福祉事業連盟)
- 4 最近の新興宗教諸団体の動きに鑑み、仏教各団体として深い反省をなすと共に、各宗積極的対策を促進しよう。(東京仏教団)
- 5 寺院解放農地の国家補償運動を全仏教徒の手で強力に展開しよう。(真言宗豊山派)
- 6 現代宗教法人法の再検討を行おう。(高野山真言宗総長前田富禎)
- 7 沖繩復帰運動展開に協力しよう。(全日仏青)

## 【解説】全日本佛教教会とはどんな団体か

全仏は仏陀の和の精神を基として、相互の緊密な連絡提携下に団結と協力を図り、全国各種の仏教活動に全一性と計画性を持たせ活動的な全一仏教運動を促進し、以つて仏教文化の宣揚と世界平和の進展に寄与すると云ふ遠大な目的の下、昨年六月二十五日発足した団体である、此等の目的とする事業としては国内の各仏教宗派及同諸団体との連絡、国会關係官庁及公共団体との連絡折衝及び、外国のWFBセンタ及び仏教諸団体との連絡や、仏教に依る国際親善及学者僧侶の交換など多種に渡つて行つてゐる。

機構としては事務局に総務局、組織局及び国際局が置かれてをり、総務局に財務、庶務部が有り、組織局に組織部、弘報部が、又国際局には国際部がそれぞれ置かれてをり、現在主な仕事としては、十一月の身延山大会諸準備に大章である。又現在東洋大学大学院に於ける英文仏教百科辞典の大事業の經濟面的全面的援助をしてをり又ビルマ遺骨収集事業、ビルマ派遣留學僧の動向、対内的には宗教法人法及農地解放問題等の研究にも大章である。以上述べた点が主とした現在の仕事で、連日東奔西走の態である。

又本会の予算は年八〇〇万円であり、構成団体の負担金、補助金、募金に依る収入、事業に伴う収入等一切を切りまわしてをる状態である。また英文辞典特別会計は二ヶ年二千万円で進められてゐる。

# 第二回永平寺大會

## ● 實行報告 ●

### 1 組織に関する件

全国府県仏教会と全仏との関係は、昨年の大会決議に基き、各府県仏当局に加盟の勧誘と凡ゆる機会を通じ緊密なる連絡をとつてゐる、ことに本年七月開催の第二回中央講習会に際し代表者会同を開き二十数名参集の下に種々協議懇談すると共に加盟県仏に対しては各々仏旗一旒を贈つた。

其の後鳥取はじめ数県の正式加盟を見仏教徒募金も夫々展開している。

なを九プロットの地域別運動も漸次進展し、北陸、近畿、関東甲信越、東北において開催し夫々地域別の協力体制を整える段階に入った。

### 2 その他の組織

本年二月全国仏教社会事業連盟結成の一段階として関東甲信越仏教社会福祉事業連盟を結成、多年の懸案を解決して明るい希望をもたせた。

仏婦、仏青の組織は、幾多の変遷と幹部の苦心により、着々進んでゐるが全仏婦才一回大会は日比谷公会堂において大谷智子会長を迎へさらに結束を固めた。

仏青連合は全国組織化のため、昨年以來数回の中執委をひらき去る十月初旬全国代表者会議を東京で開催し実質的全国組織化に努力している。

全仏でも両団体の育成を目的としてゐるので各宗派、団体の協力を期待してゐる。

### 3 教化運動に関する件

各宗派、各府県仏教会の教化活動は、昨年比して本年は格段の進展を遂げたがその効果はその努力に比して仲々の困難を感ずる。全仏でも仏教共同運動(花

まつり、うらぼん、成道会等)には特に力を注ぎ、殊に本年の花まつりに當つてはこの機運を盛り上げべく機関紙「全仏通信」活用し、またポスター、花まつり教材等を頒布して宣伝啓蒙につとめ、全国津々浦々で空前の盛況を呈した。従つて、これらの機会に行事を通じて自ら全一仏教運動の思想的展開も行われたと考へられる。又特定地区集中伝道は、問題になつた福島県をはじめ新潟、秋田等々の各県に対し、文書伝道(めぐみ、仏教とは何ぞや)と一流講師の派遣を行つた勿論、その結果は反省を要し、今後改革の余地もあるが、要は地元各寺院住職及信徒の正法興隆の信火燃ゆる所必ず困難と妨害を斥けて、充分目的を達し得るとの確信が得られた。全仏では今後二層の叱咤激励と各府県仏の奮起を願つてゐる。

### 4 講習会の件

中央講習会は昨年に引続き本年は去る七月一日より三日まで、東京本部で開催、約二百の全国代表者が参加された。本年度は殊に地方組織確立強化と教化活動の刷新を図ることを目的に、内容も概ねわ教、音楽、放送文芸を中心に講義を整え、加うるに憲法問題、新興宗教対策等を探り上げ、講義後に関連諸問題につき夫々の権威を中心発言者として招いて研究討議が行われた。(詳細別冊講習会記録参照)地方講習会は今迄開かれていないが、是非開催して護法愛宗の各位の期待に應へるべく目下研究中である。

### 5 仏旗掲揚運動並に仏教標章の普及

これについては永平寺大会の決議に鑑み全仏事務総局内に普及本部を設け凡ゆるる機会に意義内容の宣伝と普及を計画的に行つてきた結果、着々全国各地に弘まり寺院、幼稚園、保育園に仏旗が翻り最近では羽田空港、東京駅頭でも屢々仏旗の波が見られるようになった。全仏ではこの普及への一層の協力を期待してゐる。

### 6 仏教徒の歌の件

かねて屋外屋内での仏教人多数の集合で合唱できる適当な歌が望まれていたが、全仏学委員会で再三研究の結果、日本芸術院会員 土岐善麿博士の作詩、芸大教授平康三郎氏作曲の「あゝこのよるこび」を「仏教徒の歌」に制定、去る二月十五日涅槃会式典の際発表を行い、レコードを作製して各方面に頒布を開始し同信の力強きを自覚させるものとして歓迎されている。

## 全 佛 へ の 期 待

セイロンのマララセケラー博士が「日本人が七、八十年来その心から見失つていた仏教を、ここ二、三年とりもどしつつある。日本人の心に仏教がよみがえれば日本はずばらしい国になる」と云つて帰国したのはこの四月であつた。かの国で仏誕二千五百年の記念事業に英語の仏教辞典を編纂せんとするに當り、この世界的なわだてに、日本の仏教学者達の力が期待されないわけが無いし、又日本の仏教学者達もこれに助力を惜しむ筈もない。日本には仏教学者の種類も数も多いし、其の世界的水準は他をしのいでいると思われ。それなのに、その学者達に協力を依頼して来たセイロンのマララセケラーは、其の様な言葉を残して帰つたのである。此の事に役立つ筈の本来の面目たるものは、高々と飾り物になつて、人心は仏教の信を見失つてほうこうのすがたにかえつてしまつたことを指適されたのだと思う。そして更に新しくよみがえりつつあると、彼の云うその仏教とは日本人の心にあたらしく目芽えてきている仏教を指すのである。其れは、日本人の仏教への仰慕と、仏教の培つた文化的国土のもつ知性の求める新しい信仰であり、道徳であり科学であると思われ、その深奥な仏教そのものである。

全仏こそ、時代の要請に依つて日本の将来を荷負つて発足したのであるから、今更、日本人のいじいじした面や、仏教者の非社会的な面等をさらけ出すような事のない様に、洋々と発展してもらいたいものである。まして東南北の他仏教国に対する日本の比重を考へる時、少くも全仏の存在は、日本の再建に非常に大切なものである事がわかる。

全仏を荷負う人達に、特に大きなきん度と時代へのめざめと仏教者の責任、忍辱の行の今こそ大切なときである事を思うものである

(やまもとすぎ)

## 安藤副會長逝去

浅草本願寺で葬儀

政界は元より、我が国宗教界に活達無比な御活躍をされた、前文部大臣、全仏副會長安藤正純氏は去る十四日逝去されたが、十七日の午後一時より、浅草東本願寺本堂に於て民主党葬儀が盛大に厳修された。この日は、鳩山首相、重光外務大臣、花村法務大臣や岸信介氏を初め、党員及び政界著名人多数が参列の下葬儀が進められたが、全仏の長井副會長は、靈前にて弔辞を朗読した。遺家族や党員の焼香につづき、一般人の焼香もひきもきらずにつづけられた。



〔寫眞〕故 安藤正純氏葬儀式場に於ける長井全仏副會長の弔辞朗読。(東本願寺本堂にて)

# 佛紀二千五百年記念事業

## — 明年東南アジア各國で —

日本でも多彩な行事を予定

明年は南方仏教各諸国では、仏滅二千五百年の記念事業が国を挙げて多彩に計画されているが、セイロンでは、英文仏教百科大辞典の刊行や、その外仏蹟の修理など数十億を投じ計画されているほか、日本の皇太子殿下をお招きする計画があり、亦ネパールでは、十月に才四回世界仏教徒会議が仏陀誕生の聖地を中心として、盛大に行われる様である。

インド政府では、明年十一月の仏紀二千五百年祝賀祭に際し、各国の仏教界の代表的な学者、哲学者等招いてシンポジウムをひらくべく種々準備がすめられているが、九月はじめに日インド大使館より外務省を通じて全仏へ代表の推薦方を依頼して来たので、全仏国際局では、早速インド大使館と打合せると共に、明年の準備に着手した。

ビルマでは、才六回結集が明年五月を以つて終り、それに伴う種々な計画が有り、亦タイ国でも、色々と記念祭が行われる様に準備が進められている様である。

わが日本ではこれに呼応し、仏教振興の好機として四月の花まつりを中心として大々的に記念事業を開催の予定。具体的には委員会が設けられ本年末より準備される予定である。

### 顧問、參與を推薦

#### 九月五日の全仏理事会で

去る九月五日 午後二時より常務理事会、引続き三時より理事会が東京築地本願寺に於て開催された。佐々木理事長渡伯中の

ため、倉持秀峰常務理事が議長に推されて議事に入り、英文仏教百科大辞典編集協力の件、新生活運動展開の件、ビルマ方面遺骨収集協力の件、顧問、參與、理事推薦の件等多くの事項が協議された。前日出席の常務理事は、長岡慶信、安藤寿雄、前田有税、栗本俊道、友松円諦、岩野真雄、芥菜義恭(阿部代)、山本杉、米山久、倉持秀峰、鳥居敬督、奥本大倫(渡辺代)、北島教員、浦井亮文(神田代)、小松浄祐、中山理々、重永潜、堤敏郎、の各氏で、理事は禿諦住、松村寿願、菅原榮海、浜田本悠、高木貞隆、三谷会祥の各氏であつた。猶、今回決定した理事、顧問、參與は次の通りである。

#### ◎ 顧問

- 朝倉曉瑞、網代智海、荒不照定、石橋湛山、伊藤述史、宇井伯寿、衛藤即応、岡田戒玉、岡本教海、大谷壺潤、大谷光暢、大宮智榮、金山稔韶、神居琳応、加藤精神、岸信宏、木辺孝慈、草葉隆巳、佐藤義詮、熊沢泰禪、倉持秀峰、小柳牧衛、清水谷恭順、正力松太郎、鈴木大拙、高階唯仙、出口常順、中野義照、中山太一、中山文秀、橋本凝胤、東伏見慈治、広川弘禪、深見日男、増田日遠、三浦承天、宮本正尊、森川智徳、山口益、渡辺玄宗

#### ◎ 参与

- 赤松常子、荒谷天乘、為郷恒淳、石川存静、石黒平吉、市橋本賢、上田頌光、梅園淳良、浦井亮文、雲藤義道、岡野正道、小川義章、奥田宏雲、奥博良、長田恒雄、小野光洋、風間随仁、金山竜重、川嶋貞子

北村大栄、木山十彰、久保田正文、来馬琢道、小谷徳水、坂戸智海、静永孝英、白山亮一、鈴川貫一、鈴木与平、鷹谷俊之、竹浪正義、田中賢、田中車一郎、田中日広、谷善之丞、田村寿、芥菜義恭、東福義雄、鶴昌清、直山元珠、中根瑛堂、秦隆真、花山信勝、人見貞朗、平林有高、広沢栄孝、福井明賢、藤井草宣、藤齋常倫、星野俊英、牧野ます、三沢智雄、水野隆樹、八木橋文平、山田豊林、山本芳遊、山本洋一、結城合開、吉田敬直、吉水智承、

#### ◎ 理事

- 小野清一郎、大谷賢雄、末広照延、高木武三郎、常光浩然、増永靈鳳、摩尼清之、三原信一、松本徳明、山内勇仙

### 関東、関西において 宗務総長会議

#### ひらかる

全仏では、年中最大行事の一つである全日本仏教徒会議を目前にひかえて、各宗派の緊密なる協力態勢を整えて更に強力なる全一仏教運動の展開に備えんと共に、当面の重要事項について協議を願うため、去る十月三日午後二時より築地本願寺に於て関東宗務総長会議を開催したところ、真言豊山、新義真言、日蓮、浄土、法華本門、聖観音宗、孝道教団等各宗派より、夫々の代表者の出席を得て非常な盛会であつた。当日の協議事項は次の通り。

- 1 英文仏教百科大辞典編集協力の件
- 2 ビルマ方面遺骨収集(ビルマ戦歿者慰霊会)協力の件
- 3 仏紀二千五百年記念行事の件
- 4 仏教新生活運動展開の件
- 5 身延山大会参加の件
- 6 宗教法人法に関する件
- 7 解放農地国家補償要請運動に関する件
- 8 仏教徒募金に関する件

なお、関西に於ても同趣旨の会合がさる十月二十一日開催され、関東と相呼応して協力態勢を確立するよう準備が進められた。

## 佛教聖典 改訂版

不滅の聖典！ 一切経の精髓を網羅

印度・中国・日本における 仏教経論草疏のすべてにわたつてその代表的なものの要文に従ってその忠実に伝えるよう編纂されている。本書を一読すれば八万四千の法門と称せられる仏教経論の大綱に通じ得る。全仏教徒必読の書。

三省堂 東京 振替東京 110159

### 佛旗を掲げましょう

大 一八〇〇円 中 三五〇円 小 九〇円

### 佛教徒の歌法のみ山レコード

一枚 二〇〇円 送料一五〇円

### 全日本仏教会

長井真琴、バリンン、序  
花山勝友、坂東性純、佐々木洋共著

### インド仏蹟巡拝紀行

A5判写真冊四頁入・三三〇円(税三五円)

仏蹟実写冊数葉、詳細説明付、一冊にして仏蹟の現状と由来が対照して解る。更にインドセイロンの気候風土旅程等を明にし、居ながらにして仏蹟を巡拝するの思ひあらしむ。

発行所 東京都台東区 東成出版社  
振替東京 一四八五九一

### 京都東本願寺で

## ビルマ戦歿者の追悼大法要行ける

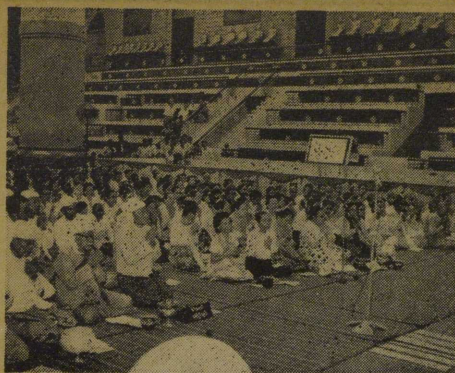
ビルマ戦歿者慰霊会、ビルママンダレー會主催、全日本仏教関西西事務局後援のビルマ方面の戦歿者追悼會は、彼岸入りの廿一日真宗大派本山大師堂に於て法主台下御導師の下に厳修された。この日、折からの秋雨に参詣者の足はとめられたが、それでも遺族や関係者が二千名も参詣され、戦後十年も経つた今日まで放置されている現状に涙あらたなるものが有つた。法要後議事堂に於て、遺骨返還促進報告會と遺家族慰安會が開かれた。なほ同遺骨収集團の出發は十二月中旬の模様で着々準備されている。

## 日本留學僧の動向

### ビルマ佛教會から

### 書簡來る

大洞屈内に於ける、最も印象的な嚴儀に出席した日本留學僧は、一ヶ月の國際參禪堂に於ける修行も終え、今はチャッタサンガヤーナ



【寫眞】日本留學僧の沙弥式に臨席されたビルマ審判官、前左よりウ・ティン・モン會長、院長、サ・ウ・テ・イン、ビルマ佛教連盟、ウ・ヌー首相。才二列左端牛場代理大使。

のチャンブディパホステルに帰つて來ているが、一つ気懸りになる事は、留學僧團長のパンニヤナンド比丘(東元)と、比丘尼(井上)が病の爲、九月廿五日に歸らわばならなかつた事である。然し、我々は彼等が再び健康を取り戻して、このビルマ佛教會を如実に成就する事を望んで止まない。あの留學僧達は、皆南方佛教の嚴行に連日涙くましい努力を続けている。願くは彼等の身に限りなき健康がつづく様心から祈る。

### 宗教法人についての研究

宗教法人法が実施されてから既に四年有半を経過したが、同法人法の施行にあつて各宗派並各方面に於ても種々研究されて居り、全仏に於ては今回これらの意見を収集し、研究を進め善処すべき点は対策を講ずべく手配中である。

### 解放農地國家補償要請研究進む

さきに真言宗豊山派、曹洞宗等の檀信徒協議會で、農村寺院の窮状を打開し、活潑な布教活動を展開するための経済的基礎を確立すべく、戦後農地改革による、解放農地に対する國家補償を要請することが提起され、その後この運動をより有効なものとするため全國諸宗派に呼びかける必要があるとして全仏に持込まれていたが、全仏事務局では理事會の決定に基き、この具体化のために準備が行われている。そのため過日別所庶務部長が全國解放農地國家補償要請運動本部に下条康磨會長を訪ね、懇談を重ね、研究を行なうなど着々研究は進行中である。

## 印度のパンナティツサ

長老來日

印度ネール首相より託された仏舍利を奉持して九月印度よりパンナティツサ長老が來日した。九月五日には日比谷公會堂にて盛大に仏舍利奉迎大會が開かれた。長老は九日より關西各地の各本山を廻り廿二日空路帰國した。尚同仏舍利は東京都大島に安置される。

### セイロン、ラトナヤカ議員來局

又、さる十月七日午後、本願寺貴賓室にセイロン国会議員のラトナヤカ氏、ピリス氏が來訪、北島局長及柳、高橋両部長と英文仏教百科大辭典編纂などについて種々懇談した。

### 東京佛教團のうごき

東京仏教團の栗本常務理事から、去る十月十四日全仏宛もたらされた同仏教團の近況報告に依ると、同仏教團の本年度の仏教徒募金は、十八万五千円を目標にして來ているが、すでに十四日迄に十三万一千四百四十円は納入済みとなつた。又去る十月十日の同仏教團の理事會で決定した、寺院の現況調査を都の指令に依つてすでに同仏教團では手をつけつゝある。即ち、礼拝施設を欠いているもの。代表役員を欠いているもの。宗教活動を行つていないもの。其他これに類する寺院につき、十月末日迄に調査する事になつた。又墓地区規約についても、全都一勢に実行する事に決定した。又赤い羽根共同募金に就いても本年度中に百万円の目標を達成する様努力している。来る十一月初旬の身延山大会にも都の各地区から約五〇名が参加する事になり、最終日の六日大會終了後、下部温泉湯元ホテルで全員と懇談會を持つ様になつている。尚、寺院共済會は、発足後漸次加入者の数は増し、現在は一千口を越えている、同會発足以來一年余を経た今日、幸にも一ヶ寺の火災もなかつた。順調にすすんでいる。

## 「ビルマの豎琴」映画化

全佛も製作に協力

日活では、評判になつた小説「ビルマの豎琴」(原作 竹山道雄)を映画化する事になり、近く現地ロケを行つが、最近外務省の紹介で全仏へ製作主任が來局し、種々打合せをする。共に、全仏もこれに協力する事になつた。この原作のあらまは、終戦時ビルマにいた日本兵が抑留所から出て一人法衣をまとい、戦友の遺骨を拾ひ慰霊すると共に、各地のお寺を訪ね、本隊が日本へ引揚げてからも、なおビルマに留まつて仏道を続けること云々物語であり、仏教思想を正しくおとどめ、ヒューマニズムにとんだものである。近くビルマ戦歿者慰骨収集の聖業が行はれる秋にあたり、此の映画化に対して、各方面から多大の期待と関心が寄せられている。

### 府縣佛教會プロック會議

關東・東北で開催さる

全国を九プロックに分けた都道府県佛教會は、その後各地でその組織を強化して來たが去る九月三十日は群馬県湯涌會に於て關東甲優越プロックが又十年八日両會で東北プロック會議が各々開催された。兩者何れも各プロックの協力が、府縣佛教會の組織強化と全仏への協力問題、宗教對策、身延山大會運動展開問題、中合せて教對策、因みに本部からも組織局長、部長が出席して地方代表の意見を充分聴いて今後運動の参考に資する事になつた。

### 新生活運動の展開

政府では先般來新生活運動の推進を計画であつたが、去る九月三十日一新生活運動協會が結成し、會長に前田多聞氏が就任した。今後理事會を頻りに開催し、具体的に運動を展開する予定である。具体的には、全仏では仏教新生活運動を強力に展開すべく再三協議され、近く具体策が発表されるようである。

(あ) (と) (が) (き)

全一仏教運動の行動的總決算の大会が三回は、一々身延の行動的總決算の大会が三回は、一々の予算を大に科学的に検討し、更に今後一年的の目標を定められる。マ本号は専らその會議の準備号として編した。秋も愈々たけなわ大に教團の前進を記しよう。

(Y.K.)